

「特色選抜で早めに内定」は、 もうありません。

2027年度からの新しい特色選抜は、「学力検査（5教科）」と「学校独自の検査」がセットになります。

これから、何が、どう変わるのか。一つずつ、わかりやすくご説明します。

新しい入試制度を3つのステップで理解する



1. 何が変わるのか (The "What")

入試制度の8つの主要な変更点を、図解でわかりやすく解説します。



2. 何をすべきか (The "So What")

変更点が、お子様の準備にどう影響するのか。具体的な対策を考えます。

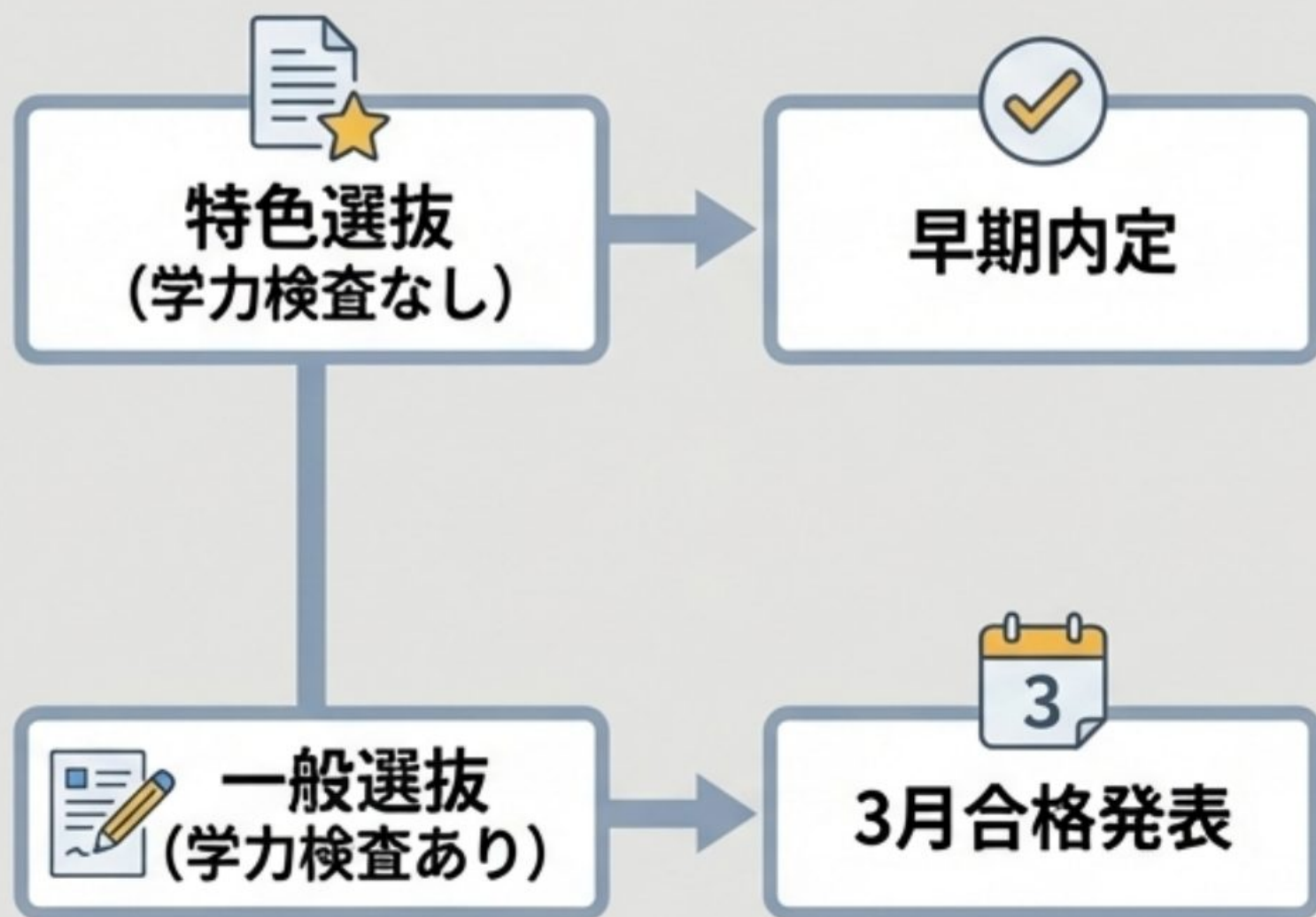


3. 今からできること (The "Now What")

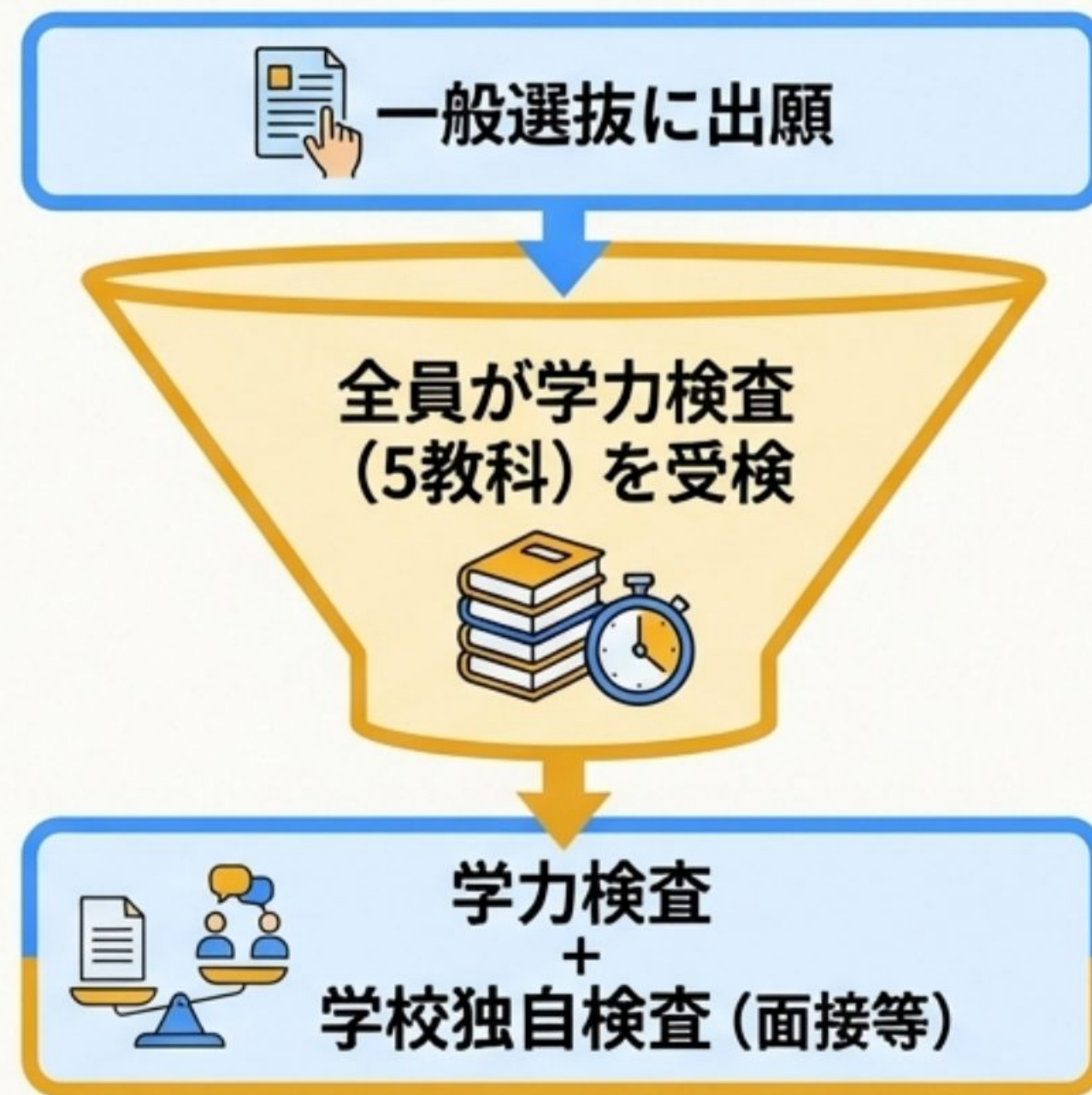
保護者として今すぐ始められる、具体的なアクションプランをまとめます。

最大の変更点：選抜方法が「一本化」されます

これまで



2027年度から



変更点①：特色選抜でも「5教科の学力検査」が必須に

特色選抜の受検者も含め、すべての受検者が同じ学力検査を受けます。



国語



数学



英語
(リスニング含む)



社会



理科

注目：英語リスニング

2027年度から「2回流す問題」と「1回流す問題」が出題されることが明示されました。



保護者向けのポイント

「特色選抜を考えている場合でも、5教科の学力準備が必須になります。

『特色＝面接や作文だけ』というこれまでの考え方は、もう通用しません。」

変更点②：入試日程が「2月下旬に一本化」されます

これまでの日程 (A "two-part" schedule)



2027年度からの日程 (A "continuous" schedule)



保護者向けのポイント



「2月上旬の特色選抜、3月の一般選抜という二段構えはなくなります。
2月下旬の短期間で一気に実施される、短期決戦型の日程に変わります。」

変更点③：出願の考え方が新しくなります



全員が「一般選抜」に出願

（まずは、すべての生徒が同じスタートラインに立ちます）



希望者は「特色選抜」にも出願

（一般選抜と同じ高校・学科に限ります。
学校が定める「資格要件」の確認が必要です）



「自己表現シート」を追加で提出

（特色選抜に出願する場合にのみ必要となる書類です）

新しい出願方法の注意点



重要なルール

特色選抜の出願先は変更できない

一度特色選抜に出願したら、その高校
・学科を変更することはできません。



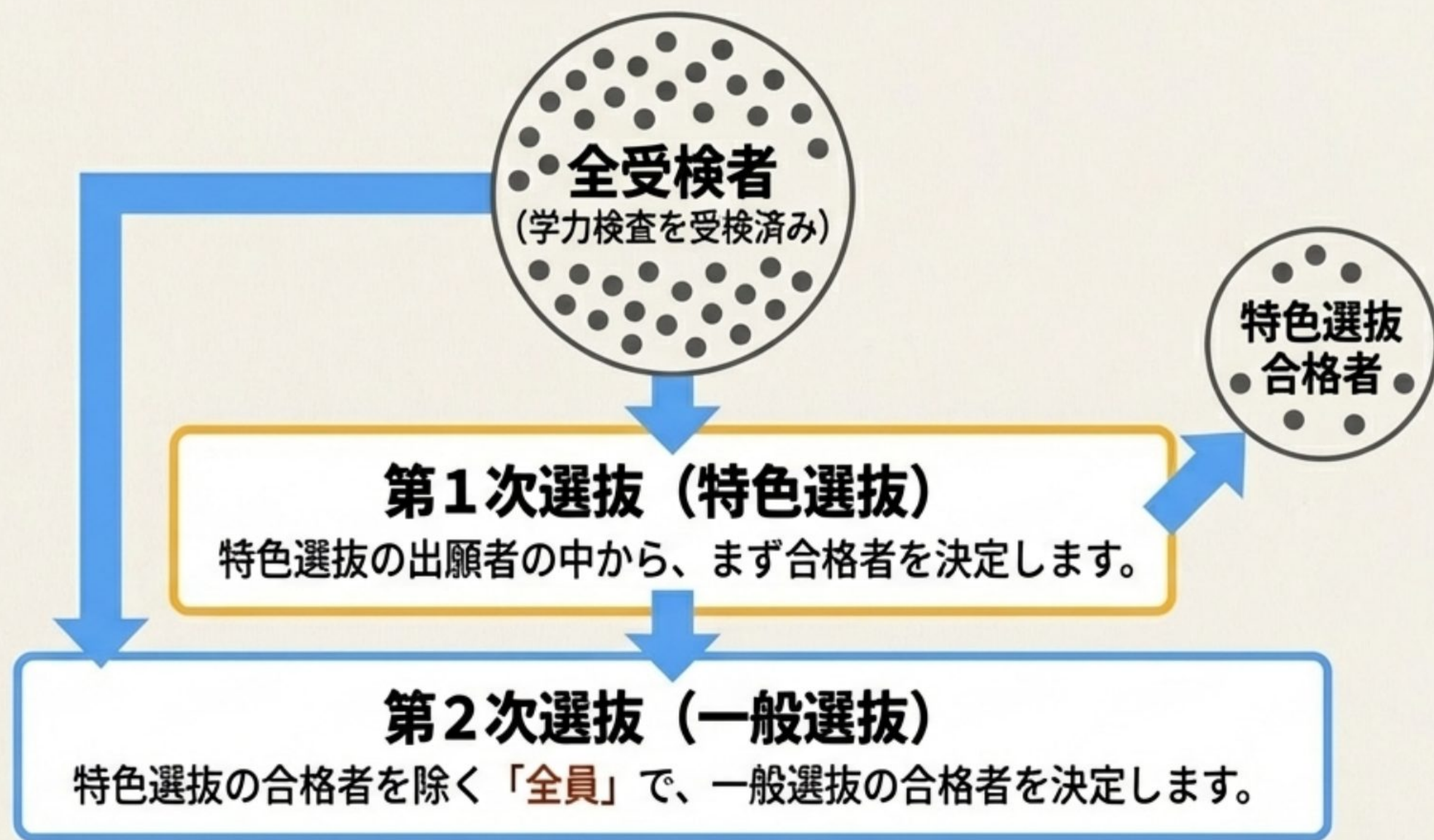
特に注意すべきこと

一般選抜の志願先を変更すると…

特色選抜の出願は**自動的に取り下げ**になります。

特色選抜は「第一志望の高校で、自分の強みをアピールするチャンス」と位置づけ、慎重に出願を検討する必要があります。

変更点④：合格者の決まり方は「2段階選抜」へ



特色選抜で不合格となっても、自動的に一般選抜の判定対象となります。再受験の必要はありません。

では、これからの入試準備はどう変わる？



1. 5教科の 総合的な学力

「とりあえず特色で」という戦略はもう通用しない。全員が学力勝負の土台に立つ。



2. 自分を伝える 「自己表現力」

新しい「自己表現シート」で、これまでの活動や経験を言語化する力が求められる。



3. 対話形式の 「コミュニケーション能力」

学校独自検査の中心は面接・プレゼンへ。自分の考えを直接伝える力が重要に。

準備の方向性①：5教科の学力対策は「全員必須」

特色選抜を希望するかどうかにかかわらず、5教科の学習がすべての基本となります。

✓ 基礎の徹底：

国語・数学・社会・理科の基礎学力を固める。



✓ 英語リスニング対策

変更点：「1回しか流れない問題」が導入されます。

対策：普段から英語音声に触れ、「一度で聞き取る」集中力を養う練習が不可欠です。

準備の方向性②：「自己表現シート」に備える

「自己表現シート」とは？ これまでの活動実績や頑張りをアピールするための書類です。

活動を「見える化」する3つの視点



いつ (When?)

中学校1年生の時から、
など



何を (What?)

部活動、委員会、地域の
活動、資格取得など



どう頑張ったか
(How?)

自分の役割、工夫した
点、学んだこと

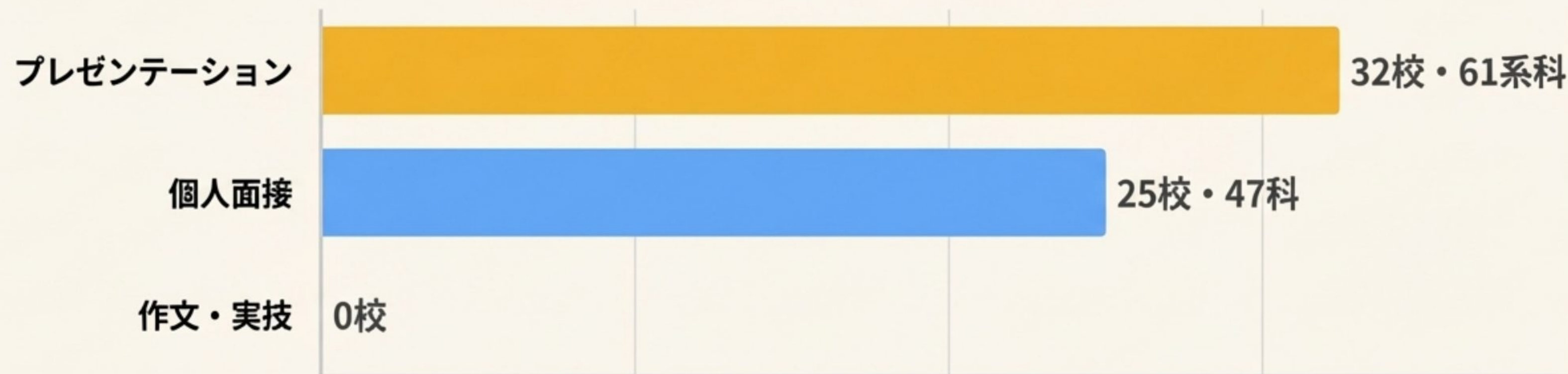


保護者のできること

「お子さんと一緒に中学生生活を振り返り、具体的なエピソードを書き出してみましょう。小さなことでも構いません。」

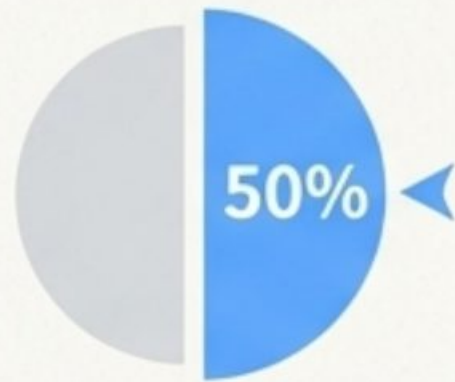
準備の方向性③：学校独自検査は「話す力」が中心に

2027年度の学校独自検査（公表時点）



これまでの「作文」が「プレゼンテーション」に置き換わるイメージです。
与えられたテーマについて、自分の考えを構成し、相手にわかりやすく伝える
練習が重要になります。

知っておきたい、その他の変更点



特色選抜の定員

募集定員の上限は**50%**。
割合は学校・学科ごとに
設定されます。
(10%～50%)



追検査・再募集

やむを得ない事情で受検
できない場合の**追検査**や、
定員に満たない場合の**再
募集**が制度として整備さ
れます。



インターネット出願

2027年度入試から、**イ
ンターネットでの出願**が
導入されます。

保護者のためのアクションチェックリスト



5教科の学力対策を始める

特に英語は「1回聞き」を意識したリスニング練習を取り入れる。



志望校の情報を早めに確認する

県のHPで、各高校が定める「資格要件」と「学校独自検査の内容」をチェックする。



「自己表現シート」の準備をする

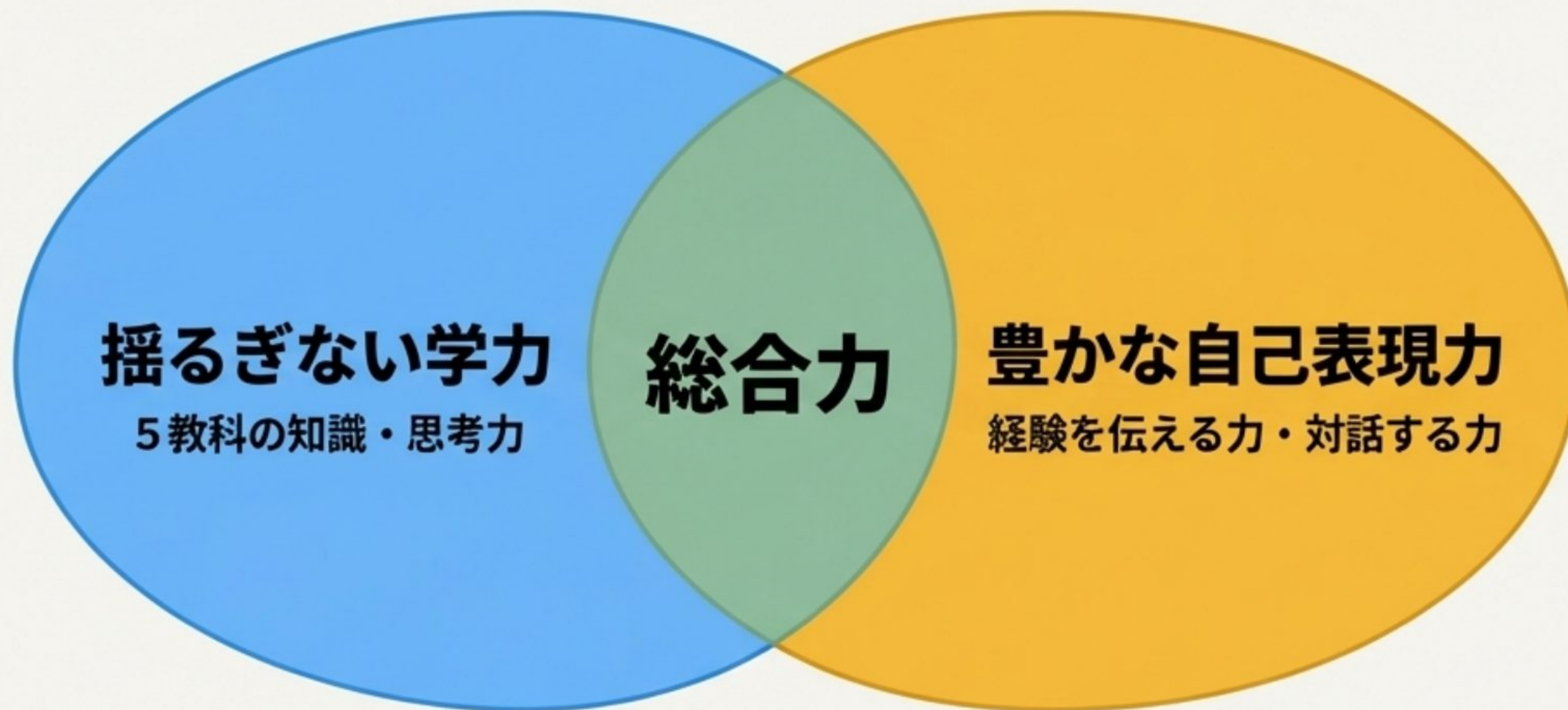
お子さんのこれまでの活動（部活、委員会、資格等）を「いつ・何を・どう頑張ったか」で整理しておく。



「話す力」を意識する

日頃から自分の考えを言葉で説明する機会を作る。面接やプレゼンテーションの基本を親子で確認する。

まとめ：新しい入試が求めるのは「総合力」



2027年度からの新しい特色選抜は、**早期内定**のための特別な選抜ではありません。

学力検査を土台とした上で、**調査書**や**面接・プレゼン**などを通して、

お子さんの個性や強みを多角的に評価する仕組みです。

今から**正しい知識**を持って準備を始めることが、**未来への一番の近道**です。